

平成25年第6回茂原市教育委員会会議（5月定例会）日程

5月23日（木）15：00～

於：茂原市役所9階会議室

1 開会宣言

2 会議録署名人の指定

3 会議事項

（議決事項）

議案第1号 職員の懲戒処分について

議案第2号 茂原市私立幼稚園就園奨励費補助金交付規則の一部を改正する規則の制定について

（報告事項）

1 平成25年度6月補正予算要求について

2 平成25年度第7回（6月定例会）及び第8回（7月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について

3 その他

4 閉会宣言

5 協議事項

★(会議結果) 議決事項について、議案第1号から議案第2号は原案どおり可決されました。

茂原市教育委員会会議録（公開用）

平成25年第6回（定例会）

- 1 期日 平成25年5月23日（木）
開会 午後3時00分
閉会 午後3時51分
- 2 場所 茂原市役所9階会議室
- 3 出席委員
委員長 齋藤 晟
委員長職務代理者 足立 俊夫
委員 鎌田 俊郎
委員 鈴木 一代
教育長 古谷 一雄
- 4 出席職員
教育部長 鈴木 健一
教育部次長（教育総務課長） 中山 邦彦
学校教育課長 宮本 昌典
生涯学習課長 高中 正典
体育課長補佐 吉田 茂則
中央公民館長 唐鎌 孝雄
美術館・郷土資料館長 渡辺 哲也
図書館長 池座 一雄
教育総務課長補佐 中村 一之
教育総務課主事 松本 卓也
- 5 署名人の指定
委員 足立 俊夫
委員 鈴木 一代

- 齋藤委員長 : 平成25年第6回茂原市教育委員会会議（定例会）を開会します。
本日の出席人数は5名ですので、定足数に達しており会議は成立いたしました。
本日の会議録署名人は、足立委員と鈴木委員にお願いいたします。
これより会議事項に入ります。
本日は、議案が2件となっております。
議案第1号「職員の懲戒処分について」を議題と致しますが本件は人事案件ですので、非公開とし、秘密会と致したいと思っておりますが、いかがでしょうか。
- 各委員 : 異議なし
- 齋藤委員長 : 議案第1号につきましては、非公開とし、秘密会とすることを決定しました。関係者以外の退席をお願い致します。

《部長、次長、教育総務課長補佐、書記以外退席》

を得ましたので、工事を同時にやるかは別として、改修計画は示さなければ判定が下りない可能性があることから、今回予算要求致しました。

現在、躯体の鉄筋コンクリート部分と屋根の部分と耐震化の判定が別に出来るか確認しているところです。

- 齋藤委員長 : 補正予算の要求についての説明です。質疑に入りたいと思います。
- 足立職務代理 : 60万と80万の金額でも難しい状況の中で言いづらいことですが、先日みなさんと見に行った豊岡幼稚園は、早急に対応頂けるのなら、あのトイレの中で出来る可能性はあったと思いますので、もう一つ増やすことは出来るんじゃないかと思います。子どもを一つ潰すなり、トイレの掃除用具を入れてあるところを何とかするなりすれば、解決は出来るんじゃないかと思います。ただ、今回公民館のトイレ改修費が出なかったということが、これから先また非常に請求しにくいところなのかもしれませんが、でもやはり幼稚園の方が皆さんお聞きになったとおりの現状だから、早く対応してあげたらいいんじゃないかと思います。
- 齋藤委員長 : 私もそう思います。部長はいかがでしょう。
- 鈴木教育部長 : 当初予算で計上してある幼稚園費の補修工事費がそんなに大きな金額を計上していないのが現状でございます。ですから、今ある予算で流用して工事をするという工事費が今のところ無いという状況です。補正をしないとその工事は出来ないというかたちになると思いますので、これから内容を精査した流れの中で補正要求をして工事をしていくということになると思いますので、ご理解いただきたいと思います。
- 足立職務代理 : 要求は再度出来るんですか。
- 鈴木教育部長 : 早くても今度は9月議会になります。6月は期限が来てしまいましたので。ただ、内容についてはみなさんもご存じの通りの状況ですので、出来るだけ財政当局に予算確保について要求して参りたいと考えております。ただ、既存予算での対応も考えたんですが、とても今の予算では直らないと思いますので、よろしくお願ひ致します。
- 齋藤委員長 : 答えとするとベストの答えであろうかなと思いますが、足立委員いかがですか。ご納得いただけますか。
- 足立職務代理 : 次は何かしますというお言葉頂けましたから、よろしいんじゃないでしょうか。
- 齋藤委員長 : 他によろしいですか。次の報告事項へ移ります。
- 中山次長 : 報告事項の2「平成25年度第7回（6月定例会）及び第8回（7月定例会）茂原市教育委員会会議の日程について」説明をお願いします。
- 中山次長 : < 資料にて説明 >
- 齋藤委員長 : 日程はよろしいですか。
- 各委員 : はい。
- 齋藤委員長 : その他の報告事項ございますか。
- 宮本学校教育課長 : 5月16日に教育委員のみなさんに各学校幼稚園を視察して頂きました。その中で、豊岡幼稚園を訪問した際に、園長の方から職員の多忙と3歳児の牛乳のことについて要望がございましたので、そちらについてご報告します。
- まず、職員の配置についてですが、文部科学省の示す基準では幼稚園の場合は、何歳児ということに関係なく、1学級あたり1名の教諭を配置するというのが基準となっています。1学級の幼児数の上限は35人ということになっています。現状の豊岡幼稚園は、3歳児が15人と16人の2学級に4人の教諭、4歳児が同じく15人と16人の2学級に2名の教諭、5歳児が19人ずつの2学級に2名の教諭を配置しておりますので、配置基準上の人数は満たしていると考えております。
- しかしながら、職員のところは本務者、それから臨時・非常勤というような色々な形での配置ということもありますので、出来るだけ本務者での配置が可能となるように関係課ともこの後、協議を進めていきたいと思っています。

もう1点の、3歳児のビン牛乳の量が多すぎてというようなことがございました。幼稚園を担当している栄養士と話をしたところ、かつては茂原市の中でも100mlの紙パックの牛乳を提供していた時代もあったということでしたので、変更が可能かということであれば、可能性はあるということですが、ただ、扱う業者が現時点でも扱っているのかということと、今の200mlのビン牛乳が45円ですけれども、紙パックが100mlになっても料金はほぼ変わらないということです。したがって、保護者の意向等も確認する必要がありますので、その辺を合わせて幼稚園側と、あるいは提供の業者ともこの後、協議を進めて検討して参りたいと思います。

- 齋藤委員長 : 少しでも協議を進めて、いい結果が出ればいいなと思います。
- 鎌田委員 : この間、豊岡幼稚園でお話を聞いた時に、ものすごく忙しいとお話だったじゃないですか。今のお話を聞いていると、十分にクリアしてますよね。
- 宮本学校教育課長 : 個々の子どもたちの大変さというのはあるのかもしれませんが、数からいうと2つのクラスを足して31人ですから、それでも基準の中では1学級で収まります。
- 鎌田委員 : 今現在、他の地域ではどうなんですか。始めに作った35人に1人というのが途方もない数字なのか、現在他の地域ではどういう状況かというのはありますか。
- 宮本学校教育課長 : 記録は古くなってしまっているのですが、平成15年のときの数字がインターネット上にありましたので、その時ですと35人の上限があって概ね平均すると22.4人が全国的な平均の数。ですから、今ですと幼児数はもっと下がっているんじゃないかと想像できます。
- 齋藤委員長 : 要は、資格ですよ。どういう資格でもって子どもたちを見ているのか、そういうことだと思います。
- 足立職務代理 : 教諭の数はその人数に1人ということだろうけど、茂原市以外の公立の幼稚園をやっているところは、教諭以外に用務員みたいなものを置いているのかどうか、これが大きな違いじゃないかと思うんだけど。他所も置いてないというなら、同じだから頑張ってくれと言えるんだけど。例として、置いている例の方が多いうていうことが出てくれば、それは考えなければいけないから、調べて頂きたい。
- 齋藤委員長 : その辺は調べておいて下さい。用務員等がおられるかどうか。他にいかがでしょうか。
- 鈴木委員 : 豊岡幼稚園では、非常に忙しいということでしたが、他はいかがでしょう。3歳児がいるから忙しいということなんですか。他の幼稚園の様子はどうなんですか。
- 鈴木教育部長 : 今、学校教育課長からの話にありましたが、3歳児30何名で4人付いているということは、やはり小さいお子様の方が手間が掛かるんだと思います。他の幼稚園は4歳、5歳になりますので、1歳違えば大分違うと思います。私見で申し訳ないんですが、その関係で、いくらいても足りないという状況はどうしてもあると思います。色々なお子様がいて、発達障害のお子様もいるのかもしれないので、そういう面も含めまして多めに越したことはないということは想定できるという状況でございます。
- 鎌田委員 : 例えば、うちは会社で、ある期間において忙しい場所があって、残業もいっぱいあって、この間の幼稚園の感じだと本当に大変だという感じだったんですけど、例えばそういう方々に今はこういう感じだけど他所もこういう感じだよとか、今後はこういう風にしていくよとか、希望を持つようなお話を担当の方って誰かいらっしゃるんですか。あれはあれで、パーンと噴き出して終わってしまったという感じだとうまくいかないような気がするんだけどね。
- 少しお話をしたりとか、今後こういう時期だから大変だから人を入れようかなとか、入れないとしてもお話はするじゃないですか。そういう方がいないと、あのままほっとらかしてしまうと。そのままあそこで溜まるだろうなと思いますけどね。

- 齋藤委員長 : さて、教育長どうぞ。
- 古谷教育長 : 基準については、先程答弁した通りなのでこれ以上増やせということはなかなか言えないと思うんですが、特に特別支援の子どもがいたりとかそういうものについては別途対応しなければいけないのかなと思っております。もう1つ、他所の部署になるので、あまり言っていないか分からないんですが、似たような施設で保育所がありますよね。保育所と幼稚園とが一体となろうという研究もしていかなければならないということですので、そういう中でも連携を取りながら、むこうとこっちの様子を見ながら対応していく必要があるかなと思っています。当分、このままいってくれるならこれはひとつお願いすると、特別支援の子どもがいれば、通年別途対応を考えるということで話を進めていきたいと思っております。
- 齋藤委員長 : ぜひ、当事者のみなさんに納得が、おそらく納得は出来ないでしょうけれども、ここは教育長が出て行って、これは何とかしろと言った方がいいんじゃないかと思っております。
- 足立職務代理 : ほかにいかがでしょうか。
- 足立職務代理 : 公立の幼稚園が4園必要かというところから始めないといけないと思っております。公立の幼稚園の良さを出して、私立の幼稚園と競合しても公立はこういう良さがあるんだよと言えるところが無いといけないんだけど、今はどちらかという公立の幼稚園の方が押されていて、施設にしてもそうだし、人員の配置、他の私立の幼稚園がどうかというとはっきりとは分かりませんが、4つの幼稚園を3つにして、その人員をまた割り当てていくということも必要なんじゃないかと思っております。実際、定員の半分くらいしか全ての幼稚園はいない現状の中において、今のままでいいと言えそうなものかもしれないけれど、それなら3つにしてもっと充実させてやっていったらいいんじゃないかというのもあるので、それは議論をしていく必要があると思っております。
- 齋藤委員長 : 根源的に直していかなければいけない部分もあるということですね。
- 鈴木教育部長 : 今、教育長のお話からもありましたが、これから子ども・子育て会議という国の方針と幼保一元化の話で立ちあがっていきます。ここには当然、保護者の方の代表、あるいは幼稚園、保育所色んな関係者や学識経験者を集めて、今後のあり方を検討していくかたちになります。
- 鈴木教育部長 : 公立で言いますと幼稚園が4、保育所が10、計14ありますが、14が本当に必要なかという協議もなされますし、民間活力もというかたちの中で、市立の幼稚園や保育園がどうあるべきか、それを公立が補完する意味でどうあるべきか、どこにそれを配置するのが1番利用者にとって良い形になるのか。スケールメリットの問題もあると思っておりますので、あまり小さいと問題をクリアしていかないということもありますので、ある程度大きさを持った、今考えているのは認定こども園という形の中で、幼稚園と保育園の一体したものを作ろうというのが国の方向性ですので、そういう制度を使って、施設もみんな老朽化していますので新たな施設を建替えて、ある程度スケールメリットで色んなことをやっていくということも、その中で検討されるのではないかと考えています。その流れの中で、教育委員会としましては、幼稚園を所管しておりますので、幼稚園がどうあるべきかということ、当然みなさんのご意見をお伺いし、行政の中にみなさんのご意見を反映し、全体的な茂原市の幼保一元プランの絵を描きたいと考えておりますので、また何らかの機会に細かいことをご意見を拝聴しなければいけないかと思っておりますので、まだ立ち上がっておりませんので立ち上がった時にご意見を拝聴できればと思います。
- 齋藤委員長 : 色々な意見が出ていますので、それらを踏まえて、国の考えもまだ1つになっていない、しばらく様子見の段階ですけれどもね。何とか、いい方向に持って行って頂ければありがたいということですね。
- 齋藤委員長 : 他にいかがですか。今の報告に対しては、よろしいですね。
- 齋藤委員長 : 次のことで、高中生涯学習課長。
- 高中生涯学習課長 : 青少年補導員の委嘱についてご報告いたします。お手元に各中学校ごとの補導員の名簿があると思っておりますので、そちらを見ながら話をお聞き頂き

たいと思います。

青少年補導員は、茂原市青少年指導センター設置条例施行規則第7条の規定により、中学校区毎に、教職員・PTA会員・民生委員及び保護司・青少年相談員、市民会議構成員等から70名の方々を教育委員会が委嘱しております。補導員につきましては、青少年の非行防止及び健全育成活動をして頂いております。今季の方々については2年目を迎えております。

年度が変わりまして、それぞれの学校関係、団体等の人事異動あるいは構成員の変更等によりまして、この度22名の方々を委嘱するものでございます。名簿の中の右側の方に在任年数、そこに新任という方々が22名おります。任期につきましては、旧委員の残任期間といたしまして、平成25年5月29日から平成26年3月31日までとなります。

5月29日に青少年補導員の連絡協議会総会がございまして、その席で委嘱するというので5月29日とさせて頂いております。

齋藤委員長 : いかがでしょうか。よろしいですか。

ではこちらでもって、報告は全て終了となります。

では、以上でもって第6回教育委員会会議を閉会と致します。

茂原市教育委員会会議規則第27条の規定により、上記会議録が相違ないことを証するため、ここに署名する。

平成25年6月27日

委員長 齋藤 晟

署名委員 足立 俊夫

署名委員 鈴木 一代